

暴風 大雨 15、19号台風 日本列島に大被害！

— 停電や断水、日頃の準備・早目の避難…教訓残す —

台風15号は9月8日の夜から9日の朝にかけて、強い勢力で三浦半島を通過、千葉市付近に上陸し、住宅災害、大規模停電、断水、通信障害…をもたらして茨城県沖に抜けていきました。1ヶ月後、さらに台風19号は10月12日早朝、記録的な大雨と暴風で伊豆半島に上陸、再び広く日本を襲いました。

屋根が飛ばされる、電柱が折れる、河川の氾濫と家屋浸水、土砂災害などの被害が発生、死者80名を超える犠牲をもたらしました。今更ながら自然災害の非情を目の当たりにしました。



指定避難場所に石神台からも9名

台風19号では「避難指示」が出され、町は国府小学校に『指定避難場所』を開設。自治会も同様に公民館を避難場所として開設し午前7時～午後8時30分まで対応、2名が避難してきました。町の報告によると国府小学校には237人の避難があり石神台からも9名が避難されたとのことです。石神台では15号台風で北公園の木が道路に倒れ交通渋滞を起こし、19号では3丁目西側山地域での倒木やエメラルドタウン町道の泥堆積など風水害が見られました。

安否確認・国府中への避難訓練…51名参加！

— 9月29日(日)大磯町総合防災訓練 —



今年の大磯町総合防災訓練では、安否確認と指定避難所(国府中学校体育館)への避難訓練が行われました。

1. 安否確認訓練の流れ

緊急地震速報→シェイクアウト→震度速報→黄旗掲出→街区委員による安否確認の情報収集→いっとき避難場所(各公園)人数確認→簡易無線機で自治会本部(公民館)に報告→MCA無線機で町に報告。



安否確認に要した時間は9時19分から9時30分の11分。黄色旗を掲示した世帯は69.7%。安否確認出来た世帯は91.4%で昨年より8.5%悪化しました。100%確認へ向け今後の努力が必要です。



2. 国府中学校体育館へ避難する訓練

10時30分東公園に51名が集合。誘導係が先行して避難路の安全を確認し、簡易無線で後続に連絡し集団で移動避難。11時体育館に到着。受付の模擬訓練、人数に合わせた体育館の床面積の割り振り、通路の確保、備蓄器具の確認を行いました。指定避難所には石神台、生沢、黒岩、西久保、寺坂、虫窪から約200名が参加しました。

今回は、避難時間の確認、体育館の収納能力の確認のための訓練でしたが、今後は避難所の運営マニュアルを作成し、より詳細な管理運営をめざしていきます。